

な～に谷っ戸ん田5年目4回 種籾播き・野毛取り・筍掘り

とき 平成23年4月23日(土) 9:30 - 17:15

ところ 谷っ戸ん田・小屋前ハウス内・竹林 天気 雨時々曇り

参加者 石田、磯、梅下(母・日菜子・浩太郎・裕二郎)、加藤(PM)、霧生、久保、佐々木(母・優)、柴田(AM)、高田(妻)、松本(夫妻)、園主 計16名(子供4名含む)

子どもチームは午後4時上がり。

午前

大雨の朝、磯さんから「張り切って参りましょう」メールでエンジンを掛ける。

前日の殺菌作業は園主がやってくれており、小屋前のハウスに機械をセットする。本日の天気が雨天なので、種籾を天日で乾かすことが出来ない。いつもは、機械で行う播種作業を手でやる。土入れ機は、三菱 ST-30という機械を使った。(少し小振りの機械) 土入れ口の下からかなりの量がこぼれるので、ブルーシート上に機械を設置し作業する必要あり。

トレーの殺菌はしなかった。トレーの上に紙を敷き、機械にかける。トレーの量は、うるち米(コシヒカリ)は、トレー 38枚分。モチ米(満月)は、トレー 11枚分。

トレー1枚あたりの種籾量としては、1.5合～1.6合が目安。1合升があればよかったのだが見付からなかったため(来年度注意)、200Ccの計量カップ 1.5杯量を計測し1枚分とした。

トレーに入れた床土は「クボタ純正春風床土 KN-1U(暖地用) Net20Kg」。これを覆土としても使った。上記49枚分の分量として、8.5袋分程度を使用した。

なるべく土の平らを保持するために種籾は、ぱらぱらと播くのがよい。手で種籾を土の上で広げてはいけない。水やりの後、土を被せる。雨の切れ間をぬって苗箱を下のハウスに移動。

作業前: 未開封 15袋、開封済残2/3 4袋、開封済残1/2 2袋あったのが、

作業後: 未開封 9袋、開封済残2/3 1袋、開封済残1/2 1袋となっていた

ランチ 各自コンビニなど。

午後

苗箱を苗床上に4枚ずつおいて、黒いビニールではさみ、最後に大きなビニールで被い最後に紐でしばる。今日の作業は終了。園主に頼まれた野毛取りを機械で行う。その他、小屋前のハウスのサツマイモ掘りとにんにく畑の雑草取りをする。筍掘りもした。

帰りに園主からお土産に筍とセロリを頂いた(先に帰宅したものを除く)

印象に残ったことは、もち米とうるち米は種籾が似ているため、一緒に作業すると混ざってしまうのであまりよくないとのこと。

次回 5月30日(土)

田んぼの畦切り(一部)、苗箱並べ、荒しろかき、人数が多ければ竹林作業